



平成29年度第10回JOGMEC金属資源セミナー

資源メジャー 金属部門の動向

平成30年2月28日

調査部 金属資源調査課

新藤 徹

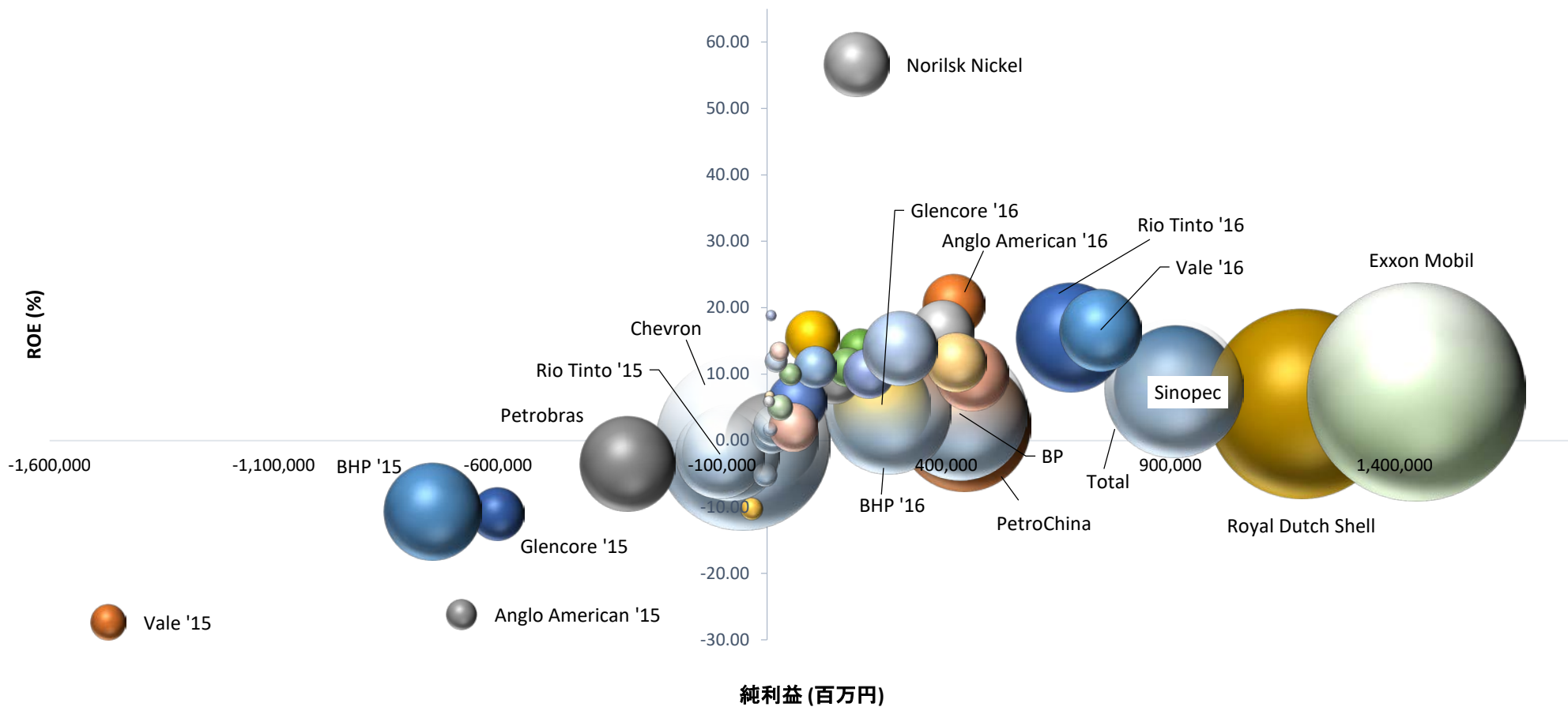
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

おことわり:本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用であることを明示してください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

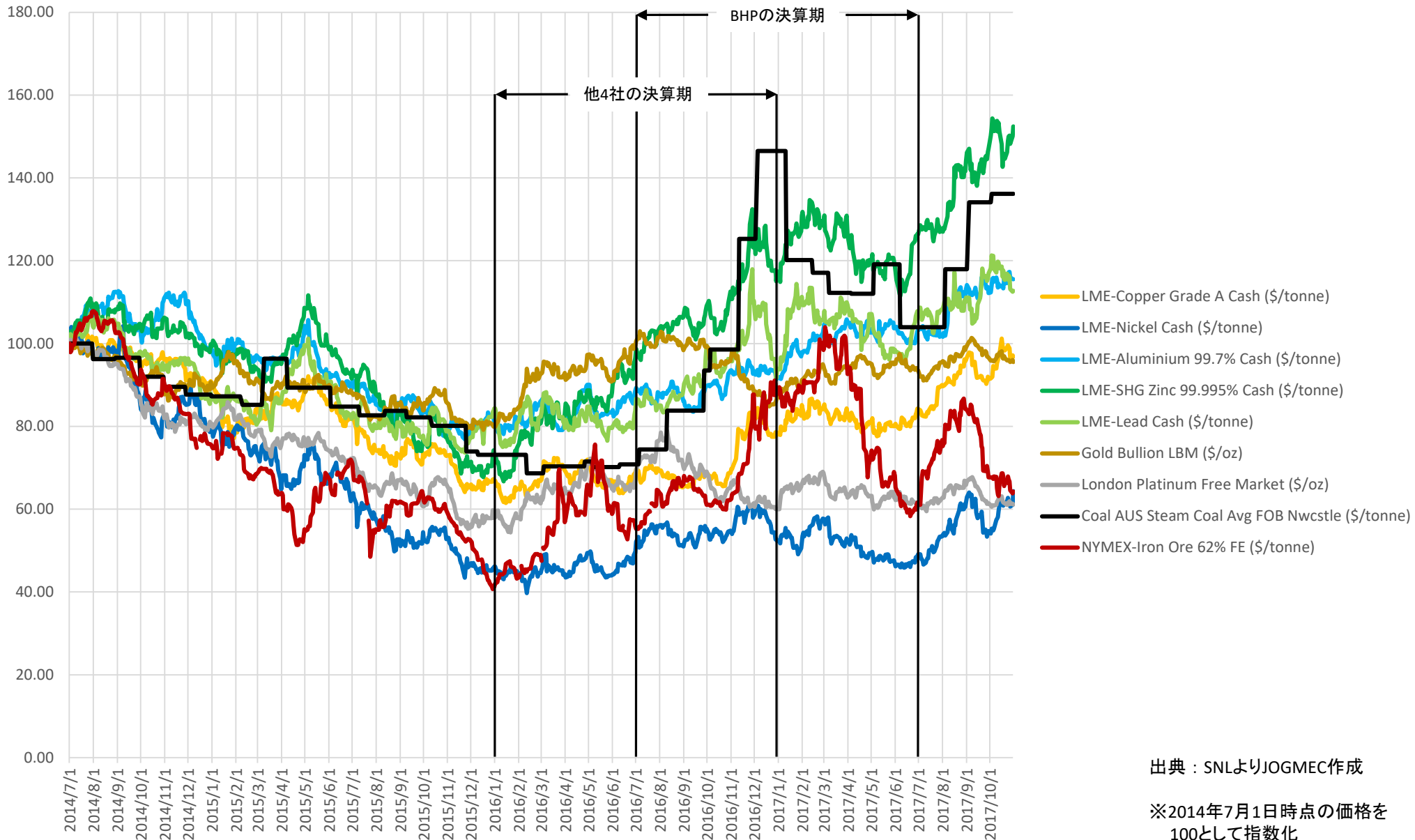
資源メジャーの立ち位置

出典：SPEEDAよりJOGMEC作成

※一部企業のROE及び純利益は2016年度のもの、時価総額及びその他企業のROE及び純利益は全て直近12ヶ月のもの
資源メジャーは比較のため2015年度も表示



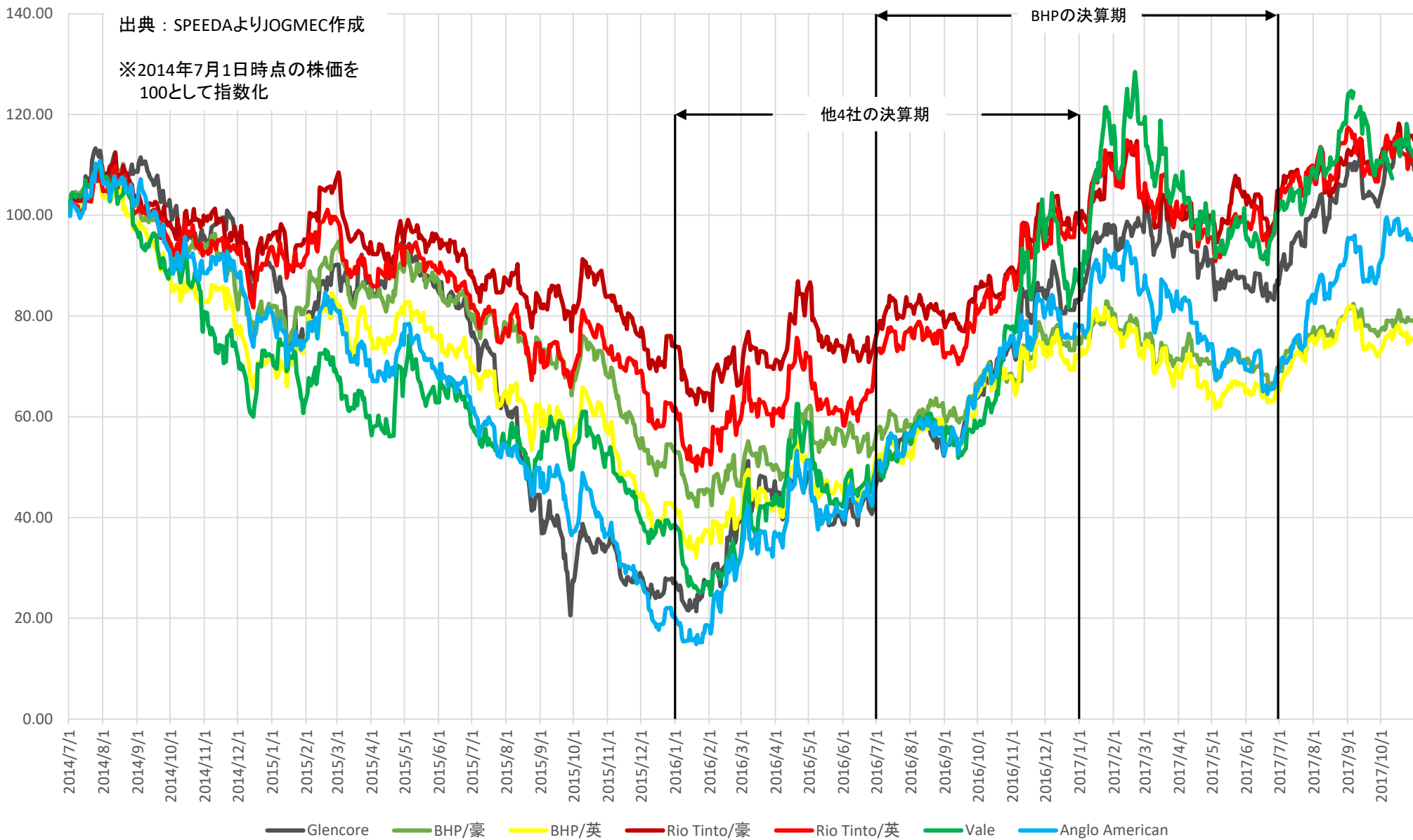
資源価格推移



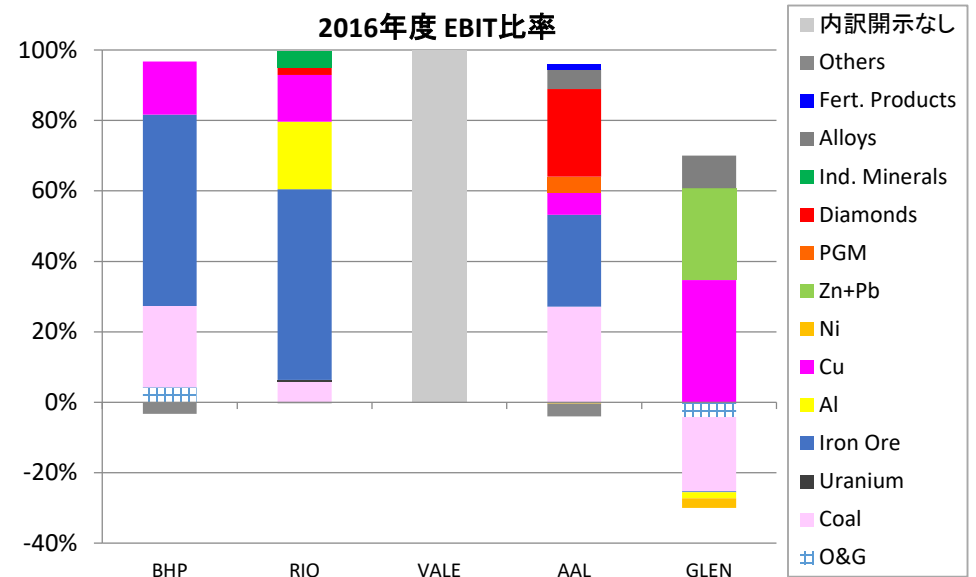
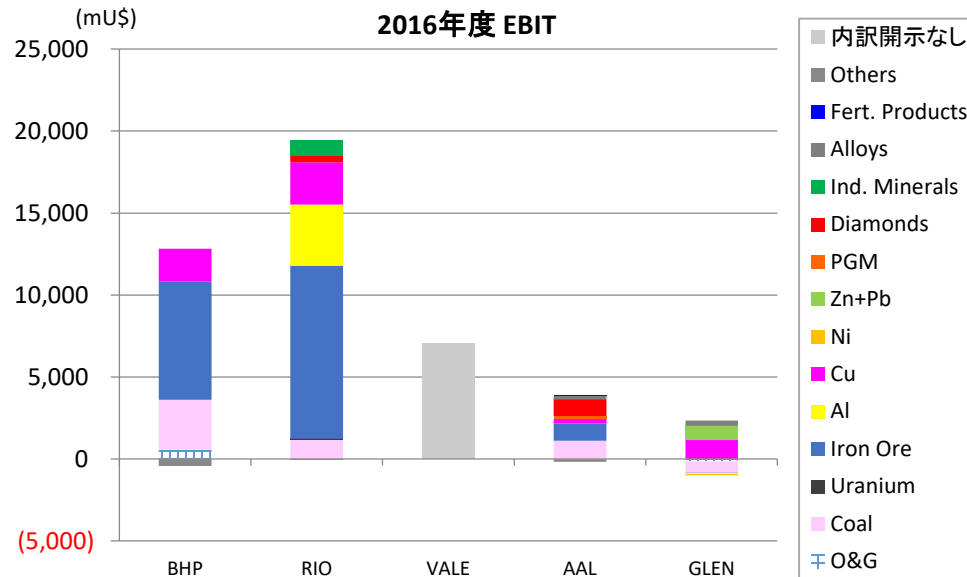
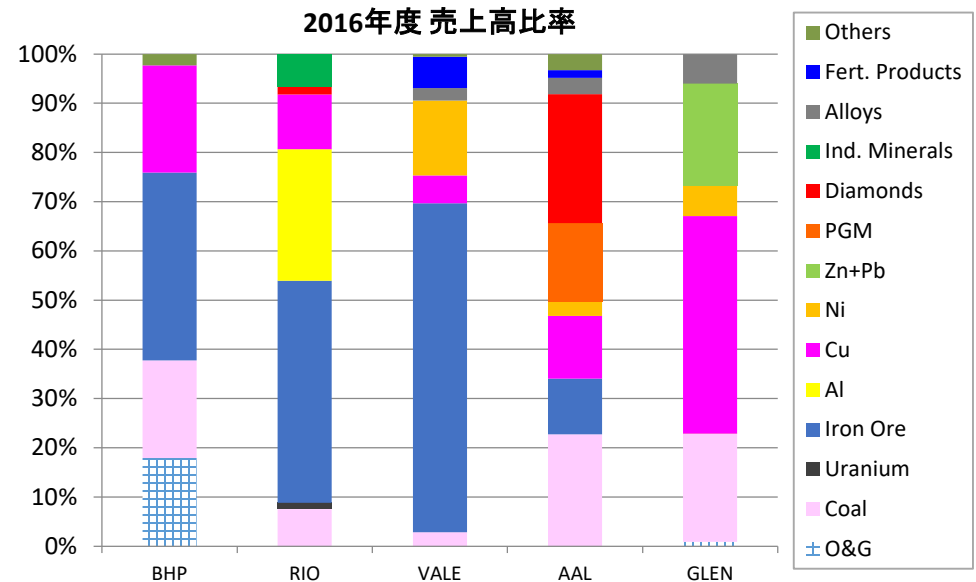
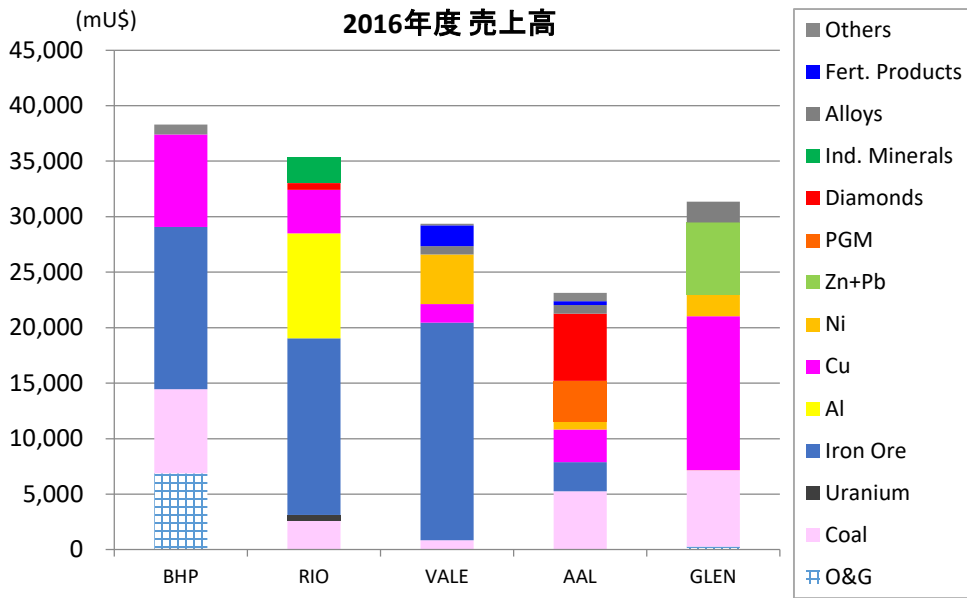
出典：SNLよりJOGMEC作成

※2014年7月1日時点の価格を100として指数化

株価推移

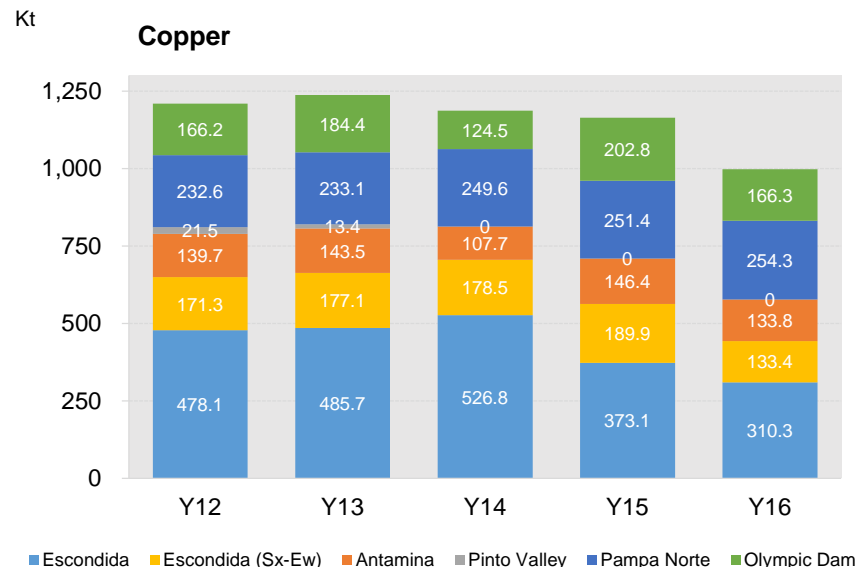
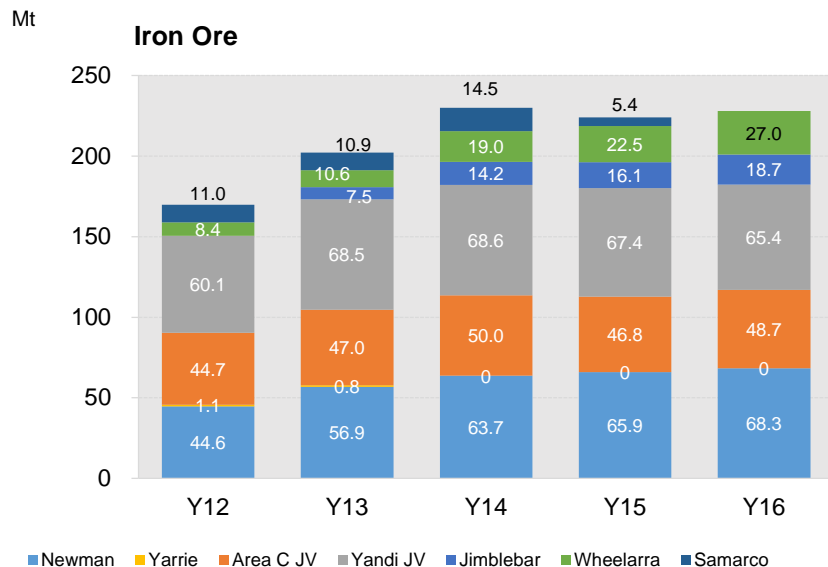
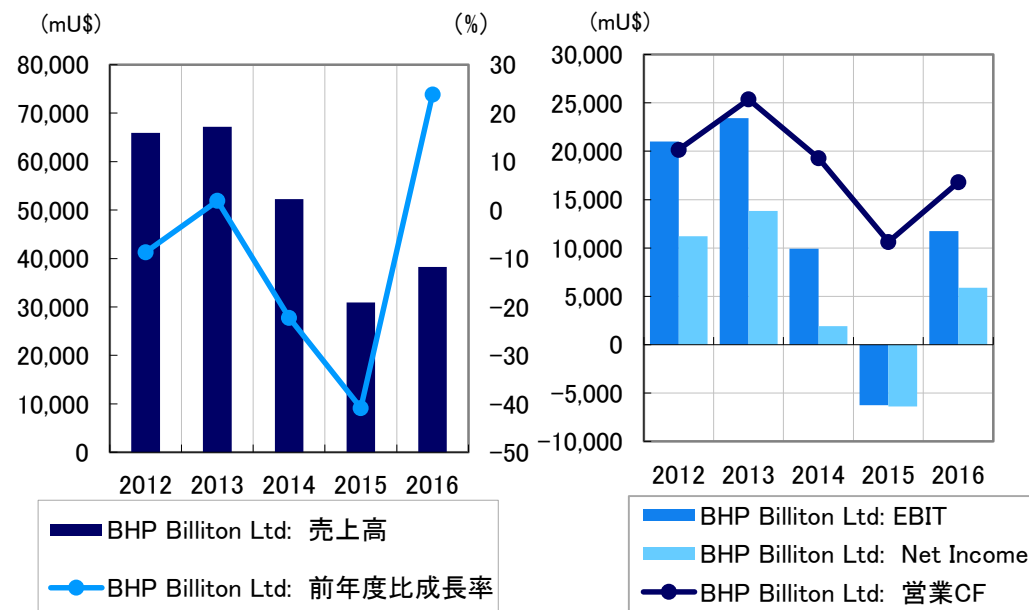


2016年度売上高・利益



- ・合併後初の赤字決算から黒字化へ
(昨年度は石油・ガス関連の減損計上あり)
- ・M&Aより保有資産の拡大/発展
(豪/Olimpic Dam銅ウラン鉱山拡張,
豪/South Flank鉄鉱石鉱山開発)
- ・売却資産も特になし

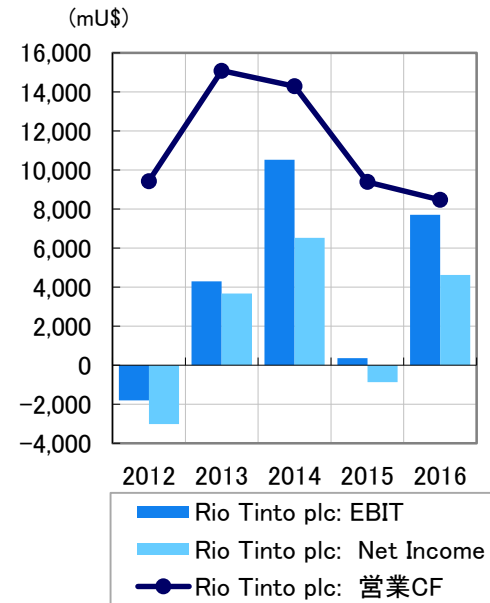
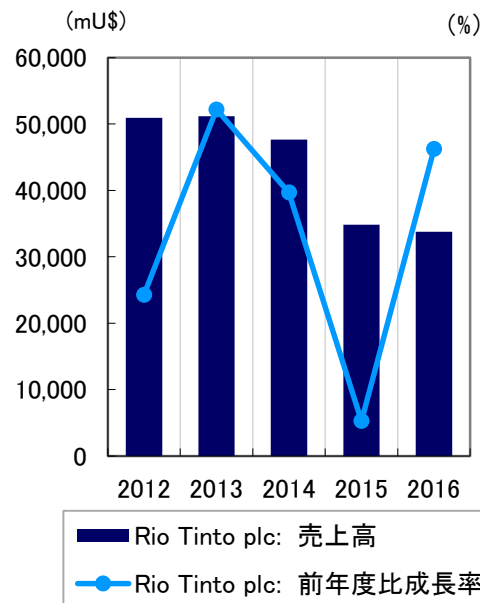
注力領域：鉄鉱石, 銅, 原料炭



Rio Tinto

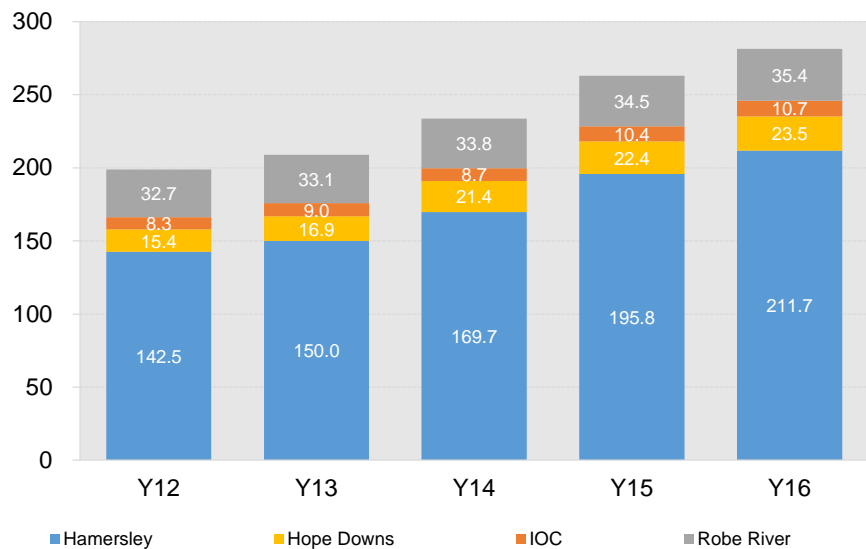
- ・事業の選択と集中
(石炭資産及び欧・豪・NZのアルミ製錬事業の売却, セルビアのリチウムプロジェクトの推進)
- ・保有資産の拡大/発展
- ・リストラによる財務改善(探鉱費も削減)

注力領域：鉄鉱石, ボーキサイト, 銅



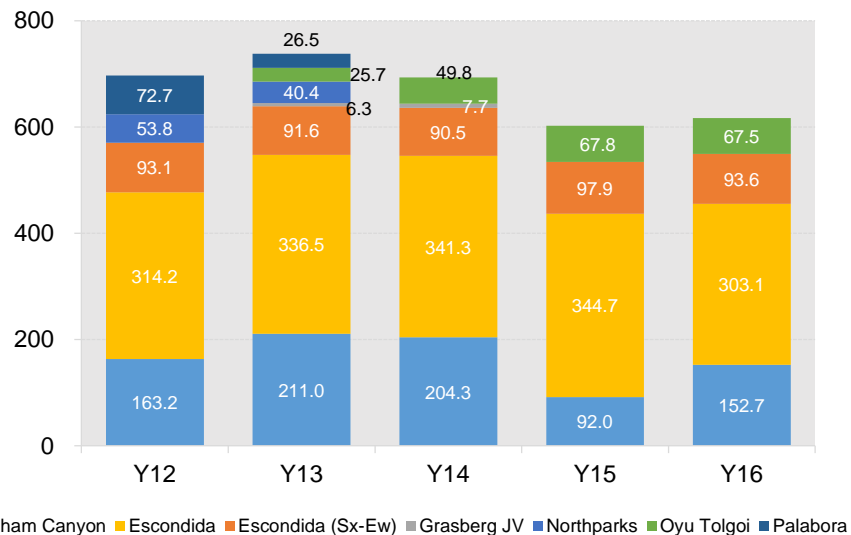
Mt

Iron Ore



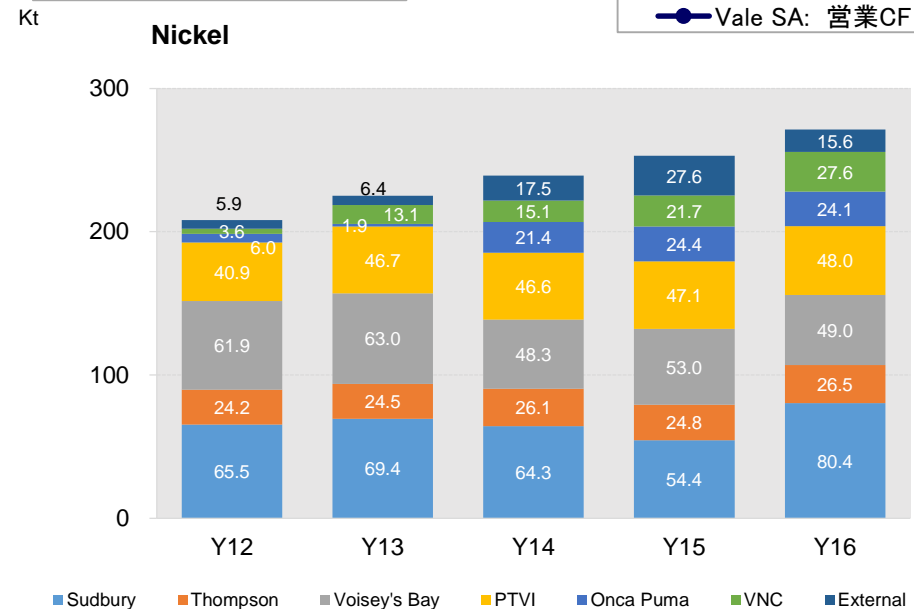
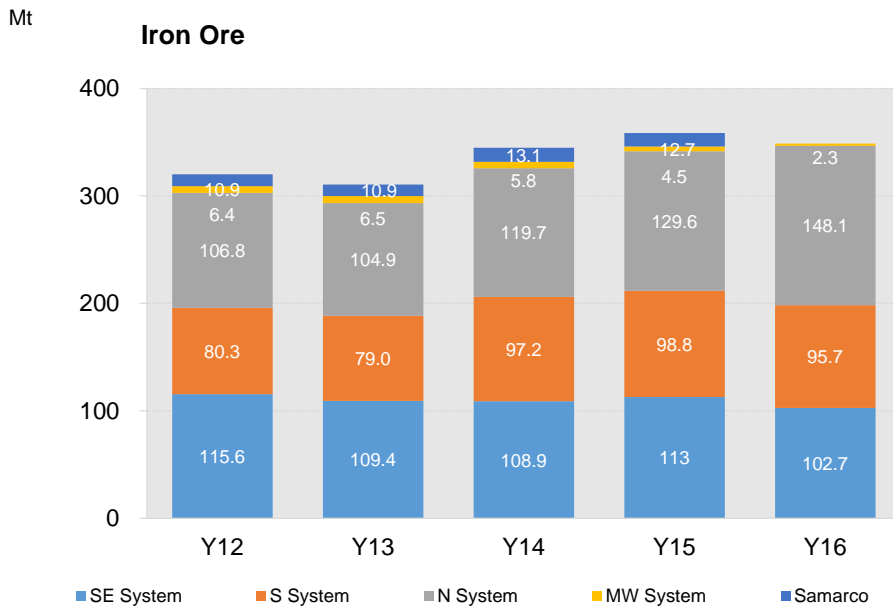
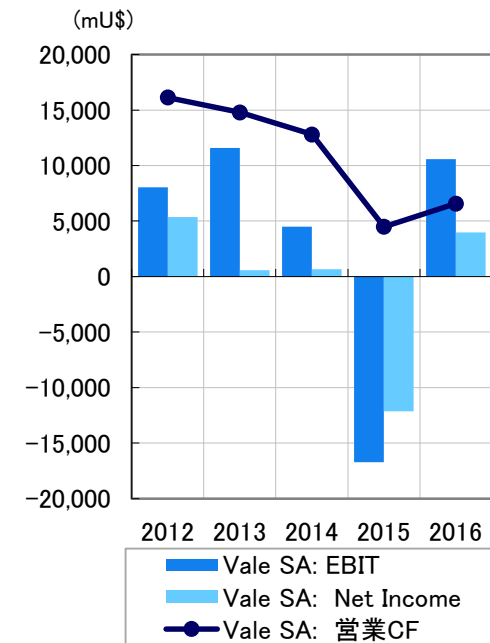
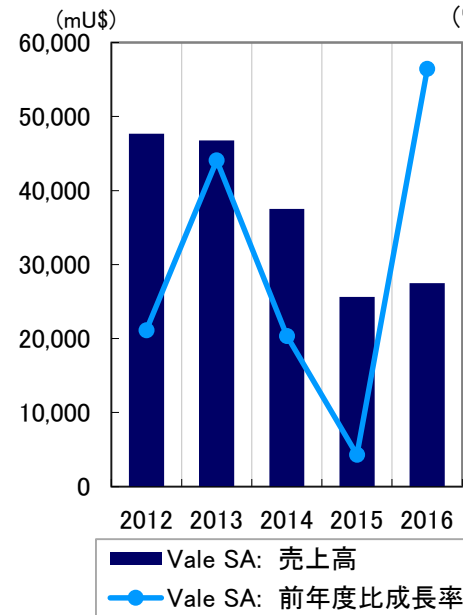
Kt

Copper



- ・事業の選択と集中
(肥料事業の売却, 伯/Carajas S11D鉄鉱石鉱山の開発)
- ・低効率資産の売却による財務改善を優先

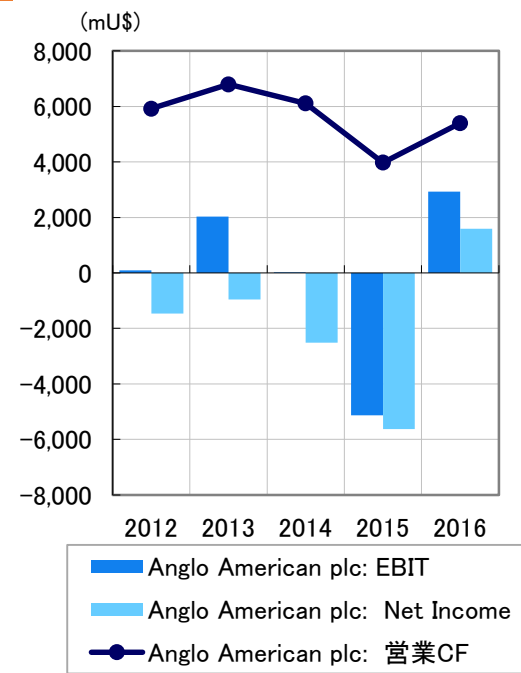
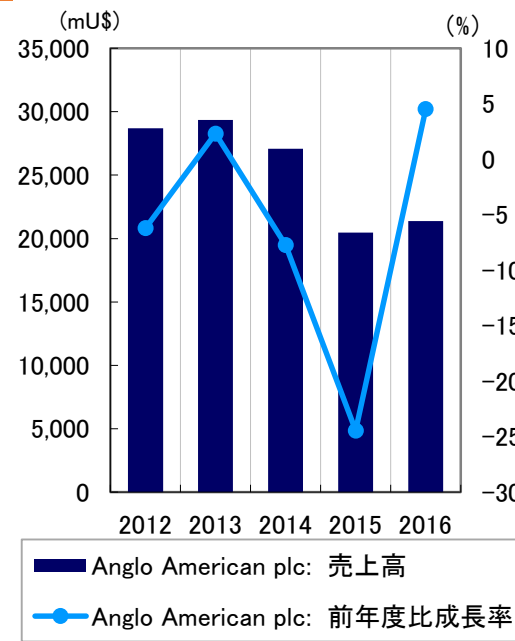
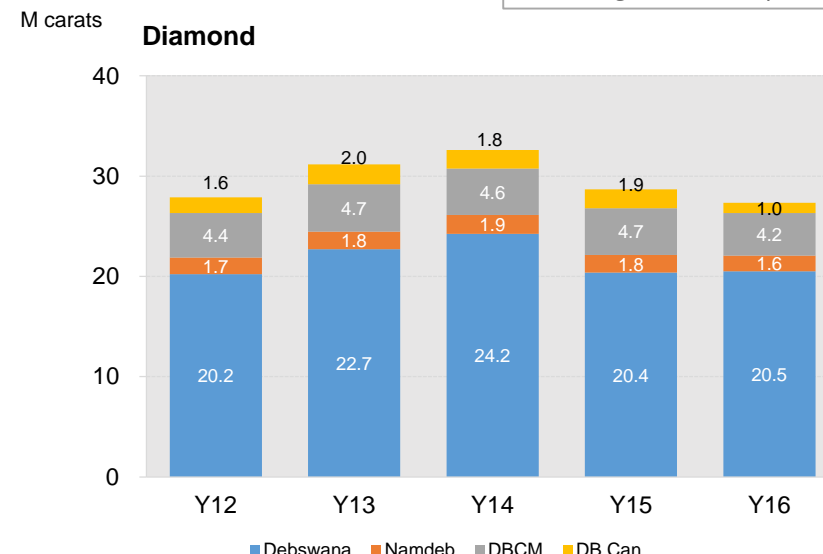
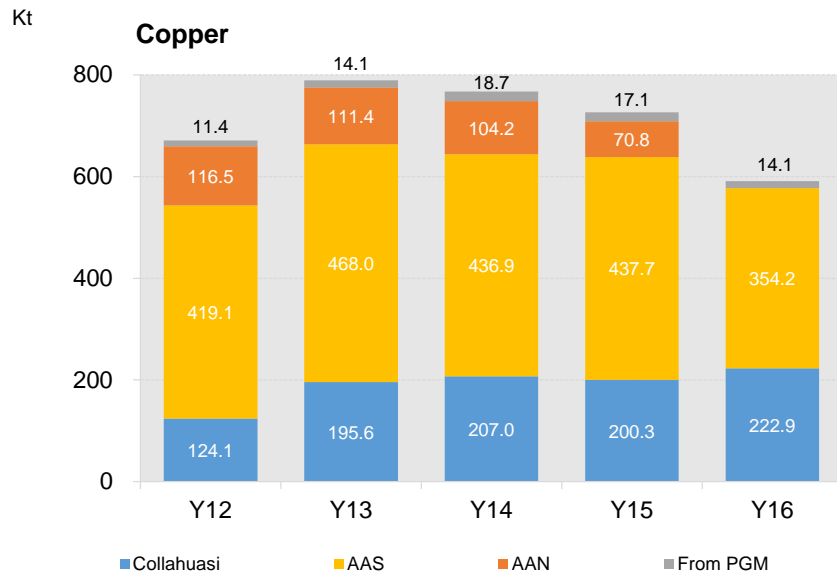
注力領域：鉄鉱石, ニッケル



Anglo American

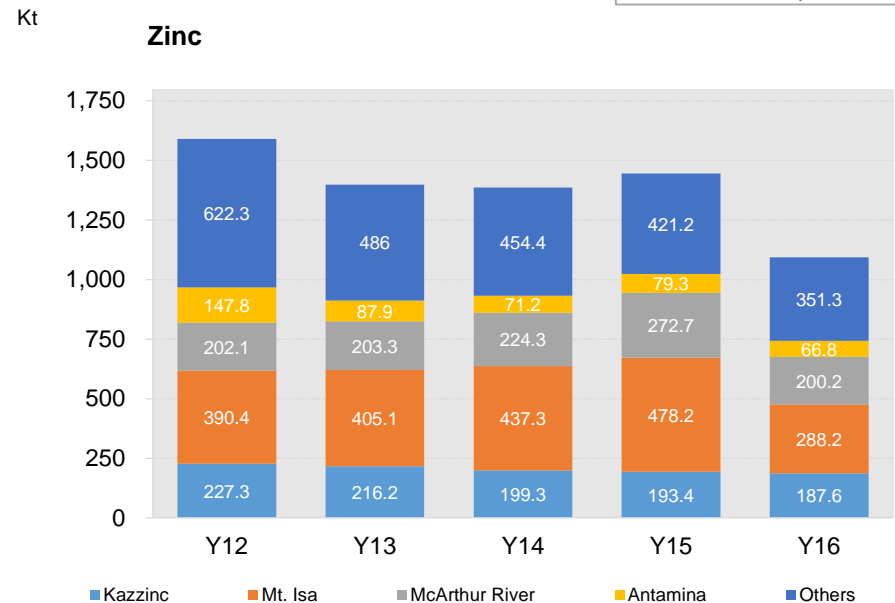
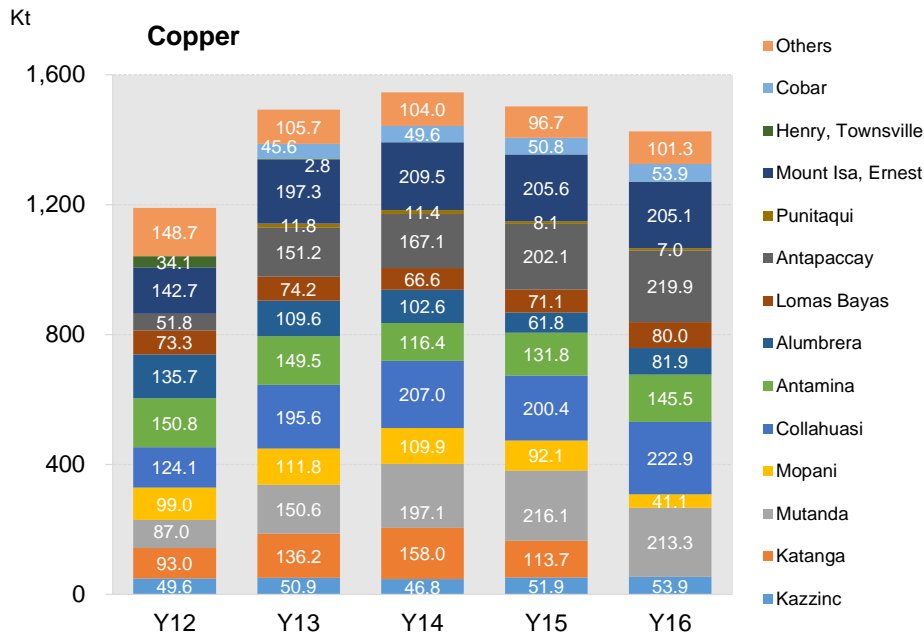
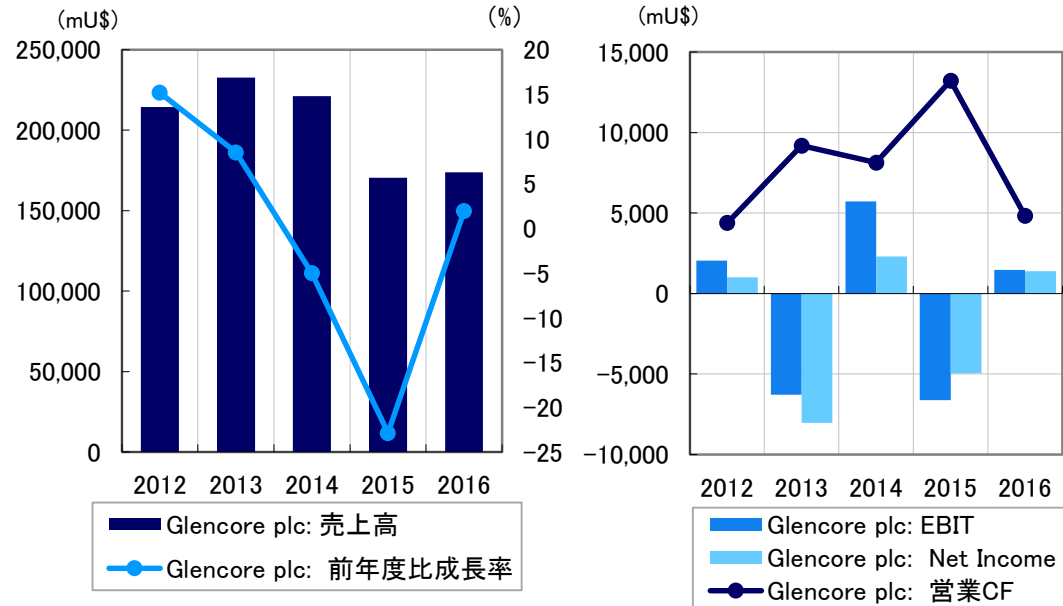
- ・資産売却及びリストラによる財務改善を最優先
(ニオブ・リン酸塩事業の売却, 主力事業のPGM資産も一部売却)
- ・一連の資産売却の終了宣言後、事業の拡大/推進に向け舵切り
(ペルー/Quellaveco銅鉱山の開発, 伯/Minas Rio鉄鉱石鉱山の拡張)

注力領域：ダイヤモンド, PGM, 銅



- ・競合他社に先駆けてリストラ開始
(穀物事業の一部売却)
- ・事業収益のみならず、資金提供の対価
としての収益源確保も追求
(ストリーミング, ロイヤルティ)

注力領域：銅, 亜鉛



BHP : Think big

Rio Tinto : World-class assets/business

Vale : True diversification

Anglo American : World class uniquely diversified assets

Glencore : Diverse asset portfolio